

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		合同会社ハートライン I Le 糸満ちゅらさん		公表日		2026年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・スペースは問題ないが使い方、導入など工夫がもう少し必要		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	・子どもの人数より負担が勝っているので動き方に工夫が必要	・1日の流れや職員の動きなどを決めておき、子どもの人数を考慮して事務作業等、取り組められるようにしていく	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・トイレの踏み台や便座の補助具など配慮がみられる	完全対応まではできていないので、玄関のフラット化など	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・掃除、整理整頓がいきとどいている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・個別指導室がありひろさも十分に確保している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	・日誌や申し送りなど一週間に一度振り返る時間をもうけている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・集計を行い、声をひろいながら改善に向けて話し合っている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・意見を聞いたり、話し合ったりする場をもうけているが業務改善が不十分なので更なる改善が必要		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	・行っていない		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・専門性の高い研修を行い向上に努めている ・月に一度法人内で事例検討を行っている		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・ホームページにて行っている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	・アセスメントを取り個々に合わせて支援の内容の検討を行っている		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・個に合わせた支援を行うとともに職員間でも評価し進めている(個別記録)		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・上記同様職員全体で評価し支援が進められている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・週に一度、児童の様子など伝えあい現状に合った支援が進めていけるようにしている		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・個別支援計画に表記 ・6ヶ月に一度見直している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・リーダーになってもらい月のミーティングで話し合いの場をもうけている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・月に一度、変更したり取り組んだりしている		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・個々の更新に合わせて支援している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・朝の会などで流れを確認するが不十分な点も見られるため改善していく	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・申し送りに記入、随時確認して振り返りを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・一日の評価を個々でとり、支援に繋げている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・更新の際に活用し適切な支援を行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・クリニックと連携し支援へと繋げている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	・他事業所、園、家庭と一方に偏りがでないように話し合う場をもうけている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	・必要であれば取り行き、卒後も対応している	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2	・連携の機会がほとんどなく研修や連絡会などがあれば参加している	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	・連携が取れていないが、園庭開放や地域行事に参加していくようにする	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・連絡帳や口答で1日の様子を伝えあい保護者からの疑問に答えている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	・事業所では研修は行っていないが、情報があれば提供している		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・行っているが不十分なのか理解できていない様子。伝え方の工夫が必要	・理解できていないこと、把握できていないことは再度確認をして周知できるように取り組んでいく
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・日々の子どもたちの様子、観察を会議中の中で聞き取りしながら支援内容に反映している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	・保護者へ説明しサインをもらっている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・必要とあれば行き、日々のやり取りの中で様子をみてこちらから提案している	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	・父母会の活動はないが、保護者会や保護者参加の行事を定期的に開催している	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・定期的に面談の案内を出し取り行い必要であれば対応できるようにしている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・SNSの発信や日々の連絡帳で活動や行事の案内を行っている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・漏洩しない様、留意している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・個々に合わせて理解しやすいように配慮している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	・相談会を実施し地域の方にも施設の説明や招待を行っている	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・面談の際、周知し玄関に配置している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・2ヶ月に1度取り行っている（火災・地震・津波・不審者対応）	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	・与薬表の受け取りやモニタリングの際に聞き取りをしている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	・対応児童なし	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・日々の環境チェックや研修、症例検討等行っている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・細かな変化も伝えあい、連携が取れている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・その都度、記録、話し合う場をもうけている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・研修を行っている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	・職員間で身体拘束について研修を行っている。	・必要であれば子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載し行う。	